

技術・家庭科

技術・家庭科における指導の重点(身に付けさせたい力) ※学習指導要領に照らし合わせて	
<input type="checkbox"/> ア 知識及び技能	<input checked="" type="checkbox"/> イ 思考力、判断力、表現力等
・生活に必要な基礎的・基本的な技能を身に付けること	・生活や社会の中から課題を見つけ、適切かつ誠実に技術を工夫し創造すること

	生徒の学力の状況(課題)	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証(2月)
第1学年	<input type="checkbox"/> ア 工具や調理道具についての簡単な知識はもっているが、適切な使用方法については身に付いていない。 <input type="checkbox"/> イ 小学校の図工や家庭科で製作することには慣れ親しんでいるようだが、思考し課題を発見する力には課題がある。	<input type="checkbox"/> ア 演示により丁寧に指導し、教え合いにより学びを深め、実技テストで定着させる。 <input type="checkbox"/> イ 毎授業で授業内容の振り返りを行い、成果と課題を見つけさせ、次回の授業につなげる。	・通年	<input type="checkbox"/> ア 演示を動画で記録し、いつでも確認できる環境を作った。また、実習では教え合いにより、使用方法を身に付けさせることができた。 <input type="checkbox"/> イ 授業の振り返りは行えたが、課題発見力には課題が残った。
第2学年	<input type="checkbox"/> ア 電気製品の製作やミシンの使い方に対して不慣れな生徒が多く、工具の正しい使用法は身に付いていない。 <input type="checkbox"/> イ 課題を発見する力は身に付いたが、課題解決能力については課題がある。	<input type="checkbox"/> ア ICT機器と様々な工具やミシンを活用して丁寧に指導し、教え合いにより学びを深め、実技テストで定着させる。 <input type="checkbox"/> イ 課題解決力を高めるために、授業の中で考えさせる機会を多くするとともに、調べ学習を通して主体的に学習させる。	・通年	<input type="checkbox"/> ア 演示を動画で記録し、いつでも確認できる環境を作った。また、実習は教え合いにより、使用方法を身に付けさせることができた。 <input type="checkbox"/> イ 実習と問いの内容(課題)に関連性を持たせ、調べ学習を行ったことで、課題を解決する方法を自ら考案できるようになった。
第3学年	<input type="checkbox"/> ア タブレット端末への関心は高いが、プログラミングに関する知識や技能を身に付けることに苦労している。 <input type="checkbox"/> イ 消費生活の分野については積極的に学ぶ姿勢に課題がある。また、情報分野については課題を様々な側面から解決しようとする能力に課題がある。	<input type="checkbox"/> ア ICT機器とプログラミング教材を活用して丁寧に指導し、教え合いにより学びを深め、実技テストで定着させる。 <input type="checkbox"/> イ 消費生活の分野では、普段の生活に関係が深い実例を提示する機会を増やすことで主体的に学習させる。また、情報分野では、課題について多面的に捉える機会を多くするとともに、協働学習の場を設定し、主体的に学習させる。	・通年	<input type="checkbox"/> ア ビジュアルプログラミング教材で直感的に学習できるようにした。また、実習では教え合いを大切に、プログラミングに関する基本的な知識・技能を身に付けさせることができた。 <input type="checkbox"/> イ 普段の生活に関係が深い実例の提示を行うことができた。それにより、積極的に学習する姿勢が身に付いた。

<p>■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末等 ICT の効果的な活用について</p> <p>1,2年 ワークシートへの記述内容をロイロノートで提出させ、添削したり、クラスでの意見共有などを行う。【重点:個別・協働】</p> <p>3年 プログル技術、Swift playgrounds やロイロノートといった様々なソフトウェアを使用して、1人1人が課題に取り組み、提出させることで、個々の理解に応じたアドバイスを行う。【重点:個別・協働】</p>	<p>■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について</p> <p>・本時の目標を明示し、授業の見通しを持たせる。また、新たな単元の際には、単元を通して身に付けてほしい力や全体の学習の流れを説明し、生徒に見通しを持たせる。</p> <p>・前時の復習を授業の導入で行うことや小テストを定期的に行い、学習内容の定着を図る。また、授業後には振り返りを実施する。</p>
---	--